

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会  
**2021年度事業報告書**

(2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで)

【概況】

2021年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの猛威に振り回される1年となりました。本会では、感染拡大防止に努めると共に、各種イベント、セミナー、会合等をオンラインに切り替えて開催しました。

秋のVE全国大会では、初めてオンデマンド方式を採用しましたが、いつでもどこでも何度でも視聴できる利便性が高く評価される一方、やはり対面交流を望む声もございました。

働き方としてはテレワークが常態化し、ニューノーマルといえますか、不可逆的な社会変化になってきたようです。元にもどすという発想ではなく、新たな時代に適合させるという姿勢での取り組みが必要になりそうです。

さて、本会では、2018年度から「社会に新たな価値を生み出し、多くの社会的課題を解決するために、VEを新たなステージへと進めていく」ことを基本テーマに掲げ、その実現に向けて、2019年度からは「Sustainable Value Design」、「Service Value Design」、そして「Future Value Design」の3つのValue Designの考え方をまとめるべく取り組んで参りました。既に研究レポートが発表されたものもございますが、鋭意研究活動中のものは、新年度に引き継いで継続して参ります。

また、VEの資格制度につきましては、SAVE Internationalが数年にわたってCVS認定制度の改定作業を行って参りました。当初は部分的・手続き的な改定と認識しておりましたが、世界のCVSをネットワーク化し、SAVE Internationalをグローバル組織としてリブランディングする長期戦略の一環としての意味があることがわかって参りました。

このことを受けて、我が国におけるVE資格制度のあり方も再検討し、新たな時代に即した形に移行させていきたいと考えております。

SDGsへの貢献については、VE全国大会のテーマとして掲げ、各社の取り組み事例等を紹介しましたが、継続的に取り組んで参ります。併せて、未来のイノベーターを育成すべく、教育分野へのVE浸透にも継続して取り組んで参ります。

引き続き、皆様方のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

# 1. 講座

## 1) バリューデザインスクールの開催

### (1) VE初級コース（オンライン開催）

	3時間で学ぶVEの基本	1日で体験する VEワークショップ	製品改善 ワークショップ
開催日	5月18日	5月25日	7月5日～6日
受講者	7名	5名	7名

	VEリーダー受験対策 1日セミナー	3時間で学ぶVEの基本	1日で体験する VEワークショップ
開催日	8月20日	9月6日	9月14日
受講者	7名	7名	5名

	VEリーダー受験対策 1日セミナー	製品改善 ワークショップ
開催日	11月9日	12月16日～17日
受講者	5名	7名

### (2) VE中級コース（オンライン開催）

	実行力を高める 調達・購買	企画段階のVE	機能の整理法
開催日	6月4日	6月18日	6月30日
受講者	6名	15名	14名

	開発設計のVE	ソフトVEの進め方	VEで活用する アイデア発想
開催日	7月15日～16日	8月24日～25日	9月3日
受講者	12名	4名	19名

	VEブラッシュアップ 講座・基本編	VEブラッシュアップ 講座・短文記述編	VEブラッシュアップ 講座・論述編
開催日	9月30日	10月14日	10月22日
受講者	15名	17名	17名

### (3) VE上級コース（オンライン開催）

	経営者を納得させる VE提案書の書き方	VEの原点的思考 (機能分析中心)	VEを組織的に適用する ためのマネジメント
開催日	7月14日	7月20日	8月23日
受講者	3名	2名	1名

### (4) ファシリテーションコース（オンライン開催）

	VE活動で求められる ファシリテーションの基礎
開催日	7月8日
受講者	2名

	VE活動で求められるファシリテーションの実践		
	1日目	2日目	3日目
開催日	8月25日	8月30日	9月7日
受講者	6名	7名	7名

	ファシリテーション入門
開催日	7月30日
受講者	9名

(5) DC (Design & Cost) コース (オンライン開催)

	コストテーブル作成・活用の体験	開発設計業務でのコストエンジニアリング	企画・構想段階の機能と品質の決め方
開催日	10月26日	11月10日	11月25日
受講者	(中止)	(中止)	(中止)

	DFA (Design For Assembly) 体験	企画から生産までの原価企画実務上の留意点	SDGsを睨んだユニバーサルデザインの評価&対策の体験
開催日	12月7日	1月26日	2月15日
受講者	(中止)	(中止)	(中止)

(6) 経営者フォーラム

	第1回	第2回	第3回
開催日	5月19日	9月1日	3月18日
会場	日本VE協会	アルカディア市ヶ谷	アルカディア市ヶ谷
テーマ	ブレイクスルー思考の世界	ブレイクスルー思考の世界	—
参加者	(中止)	(中止)	(中止)

2) その他研修会等の開催

(1) 通信講座の開講

① VEの基礎

地理的・時間的な都合等で通学講座の受講が難しい人にも、VEの基礎を学び、VEリーダー(VEL)資格認定試験の受験資格を取得できる機会を設けること等を目的に開講し、117名が受講。

② はじめての企画・開発メソッド ～ 0 Look / 1st Look VE ～

VEの基礎を学んだ人、VEL有資格者等を対象に、企画・開発業務にVEを活用する方法を学ぶ講座を開講し、受講者5名中3名が修了。修了者には、バリュー・デザイナー3級の修了認定証を発行。

(2) 西日本支部(中四国地区)でのVE塾の開講

メンバー	内容
(中止)	製品VEや作業VEを実際に役立たせるための進め方やポイント。

(3) C V S (Certified Value Specialist) による V E 技術者育成支援【「C V S フォーラム委員会」のオンライン開催】

	開催日	出席者	主 な 内 容
第158回	4月 7日	8名	① 「C V S フォーラム」2020年度総会の振り返り ② 2021年度の活動について、など
第159回	5月20日	9名	① コロナ禍など環境変化の中で“C V S に役立つものを作る”活動について ② 2021年度の研究について、など
第160回	6月28日	9名	① コロナ禍など環境変化の中で“C V S に役立つものを作る”活動について ② 2021年度の研究について、など
第161回	7月29日	6名	① コロナ禍など環境変化の中で“C V S に役立つものを作る”活動について ② 本委員会の若い世代への引き継ぎについて、など
第162回	8月19日	9名	① コロナ禍など環境変化の中で“C V S に役立つものを作る”活動について ② 本委員会の若い世代への引き継ぎについて、など
第163回	9月13日	9名	① コロナ禍など環境変化の中で“C V S に役立つものを作る”活動について ② 本委員会の若い世代への引き継ぎについて
第164回	10月18日	11名	① コロナ禍など環境変化の中で“C V S に役立つものを作る”活動について ② 2022年度研究企画の募集について、など
第165回	11月22日	8名	① コロナ禍など環境変化の中で“C V S に役立つものを作る”活動について ② 2022年度研究企画の募集について、など
第166回	12月20日	9名	① C V S に役立つものを作る活動「SDG s 絵本の作成」について ② 2022年度研究企画の募集について、など
第167回	1月25日	12名	① 『C V S フォーラム』2021年度総会について ② C V S に役立つものを作る活動「SDG s 絵本の作成」について、など
第168回	2月21日	10名	① 『C V S フォーラム』2021年度総会について ② C V S に役立つものを作る活動「SDG s 絵本の作成」について、など
総 会	3月23日	21名	① 2021年度及び2022年度の活動について ② 意見交換及び参加者近況報告、など

(4) 教育機関における V E 導入促進と普及

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科主催の課題解決型長期企業実習「プラクティカム」に協力団体として登録。同研究科の院生に管理技術による改善指導の手法を学習する機会を上海 V E 協会の協力を得て提供し、9月～1月に実施。

## 2. 資格認定

### 1) 資格認定制度の整備・体系化

- (1) 米国 V E 協会での C V S 認定制度改定により C V S の受験要件となったファシリテーション講座の開催準備を実施。
- (2) また、上記の制度改定に伴って変更された C V S 再認定の要件を、より日本の国情に合ったものとするため、米国 V E 協会の了承を得てさらに変更。
- (3) 上記の変更等によって日本と海外の乖離がさらに大きくなり、日本が世界から取り残される危惧を強く認識する状況となったため、日本における C V S 資格の主旨や位置づけを本来の姿に戻し、国際資格として米国 V E 協会の定めに沿った制度運営をすることの検討を開始。

## 2) 資格認定試験の実施

試験名	実施日	会場	受験者	合格者
第50回 V E L 認定試験（前期）	4月18日 ～ 7月31日	全国約200箇所	400名	291名
第51回 V E L 認定試験（後期）	9月 1日 ～ 3月15日	〃	1,458名	1,146名
第42回 C V S 認定試験	10月16日	大阪	1名	0名
第24回 V E S 認定試験	12月 4日	東京・名古屋・大阪・福岡	40名	27名
第43回 C V S 認定試験	2月 5日	（ 中 止 ）		

※ V E Lについては、上記のほか中国でも実施し、10名が受験・合格。

## 3) 「バリュー・エンジニアリング（V E）」誌の編集、発行、発送・配信

### (1) 「V E誌編集委員会」のオンライン開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第88回	7月 7日	6名	① 2021年度前期の編集実績と検討課題について ② 2021年度後期の編集企画と検討課題について、など
第89回	2月 2日	6名	① 2021年度後期の編集実績と検討課題について ② 2022年度の編集企画について、など

### (2) V E誌の発行、発送・配信（第314号より電子配信のみ）

第313号	第314号	第315号	第316号
5月 1日	8月 1日	11月 1日	2月 1日

## 4) 更新登録の実施

- (1) V E L、V E S、C V S登録者の更新登録（V E L、V E Sは終身登録を含む）を実施。
- (2) V E Sについては、新型コロナウイルスの影響でV E関連イベントの多くが中止・延期となり、V E関連活動に該当する行事の開催数が減少した状況に鑑み、2021年度の更新について必要な更新要件ポイントを30点から20点に緩和。

# 3. 講 習

## 1) 「第54回V E全国大会」の開催

配信期間	11月 1日～11月21日【21日間】
視聴回数	5,922回（全26コンテンツの総再生回数）
内 容	協会顕彰表彰式、講演 5 件、V E実践論文・活動事例発表10件、S D G s先進企業の取り組み紹介 5 件、「Sustainable Value の具現化」3 件、「V E活動のサポートツール」3 件

2) 地域VE大会の開催（西日本支部 関西地区、中四国・九州地区）

	第53回 VE関西大会	第64回 西日本VE大会
開催日	2月18日	9月10日
会場	会場とオンラインの同時開催	オンライン開催
参加者	128名	80名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ フォーラム 1件</li> <li>➢ 講演 1件</li> <li>➢ 事例紹介 4件</li> <li>➢ 過去事例紹介 6件</li> <li>➢ 海外活動紹介 2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 講演 1件</li> <li>➢ 事例紹介 3件</li> </ul>

3) VEセミナーのオンライン開催（西日本支部 関西地区）

	VE阪神セミナー	VE京滋セミナー
開催日	7月21日	11月19日
参加者	45名	53名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 講演 1件</li> <li>➢ 事例紹介 2件</li> <li>➢ フォーラム 1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 講演 1件</li> <li>➢ 事例紹介 3件</li> </ul>

## 4. 研究開発

1) 「バリューデザイン・ラボ」での先端的・実務的研究及び調査等の積極推進

(1) 「不利益&VE研究会」の開催

研究会が提唱する第三の機能「不利益機能」の実証実験にあたり、7月に大分県での現地調査を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大により中止。以降調査再開が見込めず、12月に本研究会の活動を終了。

(2) VE国際大会への参加による海外諸国研究動向についての情報収集

- ① 6月に世界各地のタイムゾーンに合わせてオンラインで配信されたSAVE（米国VE協会）Value Summitに参加し、発表や講演を通じて海外におけるVE実践・研究等に関する情報を収集。
- ② 12月にオンラインで行われたINVEST（インドVE協会）大会では、斎藤会長のスピーチ動画を通過して、協会方針であるSustainable Value Designの考え方を紹介。

## 2) 各支部での実務的研究の推進

### (1) 機能別部会での研究活動

① 東日本支部に下記の機能別部会を設置して、実務的な研究活動をオンラインで推進。

部会名	メンバー	主な内容
マネジメント部会	12名	ブルーオーシャン戦略やデザイン思考を加えたスタートアッププロセスに適用できるVE手法の開発。
VE推進部会	29名	VE推進上の課題について参加各社のノウハウをもとにした成功のためのポイントについての研究。
マーケティング部会	10名	マーケティング手法の理解や新たな価値を創造するためのツール開発と検証。
R&D部会	13名	価値を創造する手法としてVE手法を進化させるための関連手法を含めた探究と研究開発。
ものづくり部会	28名	「何かを持っている企業」との技術交流を通じ、ものづくりの最新動向や本質を学ぶ。
社会インフラ部会	15名	「企業ケース検討会」と「建設VE研究会」による社会インフラに関わる研究。

### ② 活動報告会の開催

上記部会の活動報告会をオンラインで開催し、各部会での取り組み内容や活動成果の一端を紹介。

開催日	3月 2日
参加者	183名
内容	部会及び研究会の活動報告、特別講演

### (2) 専門研究会での研究活動

東日本支部及び西日本支部（中部地区・関西地区）に下記の専門研究会を設置して、実務的な研究活動をオンラインで推進。

#### ① 東日本支部

研究会名	メンバー	主な内容
若手VEリーダーのためのスキルアップ研究会	13名	若手やVE初心者層を対象に、実践上の悩みや困りごと、課題を取り上げ、“VEを使えるようになる”ことを目指す。

#### ② 東海地区

研究会名	メンバー	主な内容
中部建設VE研究会	19名	地域の実情にマッチした新たな時代の建設VE活動のあり方と「2時間VE手法」のさらなる洗練化。

③ 関西地区

研究会名	メンバー	主 な 内 容
つかいやすい T R I Z研究会	20名	V E等を含めた管理技術としての幅広い視点による T R I Zの普及・活用法。
経営革新を生み出す 生き生きV E研究会	95名	各社のV E推進や実践方法等の情報をもとにした、 V Eの効果的な普及方法と活用策。
V Eツール研究会	24名	ソフトV E等、過去に開発されたV E手法の見直しと 実践。
サービス領域での V E適用方法研究会	12名	第3次産業での共通領域であるサービス領域において 効果的にV E活動を進める方法。
リーンシックスシグマ とのシナジー研究会	8名	シックスシグマの手法とV Eの手法を組み合わせた 手法の構築と活用法。
原価企画の問題解決 研究会	14名	原価企画推進上の問題の解決策。

3) プロジェクト形式での研究・検討【Sustainable Value Designの研究】

“モノとサービスの結合により社会に好循環を生み出す価値設計”の方法論を構築し、持続可能な社会づくりに広く貢献することを目的に、「SVD研究会」を設置。メンバー3名、月1回ペースで会合を開催し、具体的な実施内容と計画を検討中。

## 5. 表 彰

1) 協会顕彰の実施

(1)「審査・認定委員会 顕彰審査部会」の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第1回	書面表決	4名	① 協会顕彰（V E功労賞・普及功労賞）の審査

(2) 受賞者の表彰

次の各賞の表彰を「第54回V E全国大会」で実施。

V E功労賞	① 虫明 孝義 氏	公認会計士・税理士（前・本会監事）
普及功労賞	① 大西 規生 氏	㈲大西マネジメント・ソリューション
	② 木守 岳広 氏	パシフィックコンサルタンツ㈱
	③ 中原 格 氏	首都高速道路㈱
	④ 野嶋 泰資 氏	㈱I H I
	⑤ 宮田 徹 氏	日立建機㈱

2) V E実践論文の審査・表彰

(1)「審査・認定委員会 論文審査部会」の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第1回	6月28日	8名	① 応募論文の審査、など
第2回	8月26日	3名	① 修正論文の審査、など



## (2) 入選論文の表彰

① 次の論文の発表を「第54回V E全国大会」で実施。

入選論文	① 伊藤 学 氏 他	東京ガス株
	② 大西 規生 氏	(有)大西マネジメント・ソリューション
	③ 神田 信也 氏	首都高速道路株
	④ 瀬戸口竜也 氏	(株)ひぐち
	⑤ 田丸 貴幸 氏 他	群馬県
	⑥ 中原 格 氏 他	首都高速道路株
	⑦ 深江 和博 氏	(株)ひぐち
	⑧ 吉田 尚史 氏	三菱重工業株
	⑨ 渡邊 清彦 氏	アズビル株

② 次の論文の発表をV E誌で実施予定。

入選論文	① 内田 浩之 氏	(株)ミツバ
------	-----------	--------

## 6. 情報資料

### 1) 研究成果の資料化

① V E活動における「問題反転機能系統図の活用」研修テキスト

(西日本支部 V Eツール研究会 著)

11月22日 発行

### 2) V E関連資料の発行及びV E教材等の販売

(1) 「第54回V E全国大会」V E研究論文集及び資料集(電子版)

11月 1日 発行

(2) ワークシートやアイデア発想ラベル・機能定義カード、V E Lバッジ等、V Eの実施や推進のためのアイテムを販売。

### 3) V E関連書籍・資料・教材等の販売

V Eの学習及び研究、普及促進に資するため、新・V Eの基本等のV E関連書籍を仕入れて販売し、また本会が発行するV E関連資料・教材等を販売。

### 4) V E研究論文等のネット販売

電子化した過去のV E研究論文を協会Web Site内に開設したV E研究論文検索・購入サイト「V E論文navi」で販売。

## 7. VE活用支援

### 1) 出前講座の実施

No.	開催日	受講者	内容
1	5月13日	26名	改善マインド入門（オンライン開催）
2	5月14日	27名	改善マインド入門（オンライン開催）
3	6月 2日～ 4日	17名	VEの基礎
4	6月 2日～ 8月 4日（5会合）	10名	VE実践ワークショップ（オンライン開催）
5	6月15日	35名	VEの基礎（オンライン開催）
6	6月15日～17日	22名	VEの基礎
7	6月21日・23日・25日	17名	VEの基礎（3日間）
8	7月14日～15日	18名	VEの基礎（オンライン開催）
9	7月27日～28日	24名	実践VE
10	8月 4日～ 5日	17名	VEの基礎（オンライン開催）
11	8月19日・ 9月 1日・ 9月15日	18名	セカンドルックVE研修
12	8月25日・31日	30名	VEの基礎（オンライン開催）
13	8月27日	16名	管理技術入門（オンライン開催）
14	9月 8日～ 9日	7名	VEの基礎（オンライン開催）
15	9月13日～14日	16名	VEの基礎（オンライン開催）
16	10月 4日～ 5日	6名	VEの基礎（オンライン開催）
17	10月25日・28日・29日	18名	ゼロルックVE研修
18	10月28日～29日	14名	VEの基礎（オンライン開催）
19	11月 5日	18名	ファーストルックVE研修
20	11月 8日・25日	30名	VEの基礎（オンライン開催）
21	11月10日	10名	VEの基礎（オンライン開催）
22	11月11日～12日	21名	VEの基礎（オンライン開催）
23	11月15日～16日	5名	VEの基礎（オンライン開催）
24	1月17日	5名	VEの基礎（オンライン開催）
25	1月21日～ 3月11日（5会合）	9名	VE実践ワークショップ（オンライン開催）
26	1月21日～ 3月11日（5会合）	7名	VE実践ワークショップ（オンライン開催）
27	1月24日・25日	16名	VEの基礎（オンライン開催）
28	2月 3日	7名	価値工学入門（オンライン開催）
29	2月14日・15日	23名	VEの基礎（オンライン開催）
30	2月24日～25日	22名	VEの基礎（オンライン開催）
31	3月10日・28日	11名	VEの基礎
32	3月28日～29日	9名	VEの基礎

### 2) 指導講師の派遣

- (1) 日本国内では、依頼に応じて3社にVE指導講師を派遣し、VE導入又は実践の個別指導を実施。
- (2) 海外については、中国政府系機関の公共交通インフラ建設事業での設計VEを指導。

### 3) 産学共同研究業務の受託

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科からの委託により産学共同研究に参画し、研究の進捗管理と機能分析業務等を実施。

### 4) VEワークショップ・セミナー（48時間以上）の再認定

2件のVEワークショップ・セミナーの再認定（更新）を実施。

## 8. 広報活動

### 1) メールマガジンによる情報発信

メールマガジン「VE情報メール」を毎月1回発行し、VEや本会に関する最新情報を積極的に発信。また、大会・セミナー等の案内や参加者募集などPRにも積極的に利用。

### 2) 協会Web Site等による情報発信

- (1) 協会Web Siteを運営し、VEや本会に関する最新情報を積極的かつタイムリーに発信。
- (2) 協会Web Site内の一コンテンツとしてブログを運営。VEや本会に関心を持っていただくことを目的に、職員が日常の出来事等とVEを関係付けた形に纏めて発信。最新ブログのアップについては、Facebookでも告知。

### 3) インフラメンテナンス国民会議への参加

国が支援し、自治体、企業、研究機関、NPO等で構成されているインフラメンテナンス国民会議に会員として参加し、社会資本の維持管理に関する情報を収集した。

### 4) 他団体との連携による広報

VE大会及びVEセミナーの開催にあたり、次の団体から後援及びPR支援をいただいた。

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| ① 日本インダストリアル・エンジニアリング協会 | ⑤ 公益社団法人大阪府工業協会  |
| ② NPO法人日本TRIZ協会         | ⑥ 公益社団法人京都工業会    |
| ③ 一般社団法人日本システムデザイン学会    | ⑦ 公益社団法人兵庫工業会    |
| ④ 上海VE協会                | ⑧ 一般社団法人滋賀経済産業協会 |

### 5) アジア圏を中心とした海外向け情報発信の拡充

- (1) ウズベキスタン・タシケント工科大学及びウズベキスタン・日本青年技術革新センターと協力して同国で初となるVE・TRIZ紹介の「イノベーション・セミナー」を開催し、延べで約60名が参加。
- (2) ウズベキスタンにおける情報発信の第二弾として現地で11月に開催された「イノベーション・カンファレンス」に参加し、VE・TRIZのワークショップを対面で指導。
- (3) 米国VE協会とアジア地域との連携強化を目的とした、アジア各国代表による企画委員会にメンバーとして参画、3月25日に初のオンライン・イベント“Value Engineering Learning Session -1”を開催し、アジア諸国を中心に50名以上が参加。

## 9. 会 議

### 1) 定時総会の開催

開催日	6月18日
出席者	73名
議案	① 2020年度計算書類の件 ② 理事選任の件

### 2) 理事会の開催

	開催日	出席者	主な内容
第35回	5月19日 開催予定 (⇒「決議の省略」という方法に切替)		① 2020年度の事業報告書及び計算書類について ② 理事の選任について ③ 第11期定時総会の招集について、など
第36回	9月1日 開催予定 (⇒「決議の省略」という方法に切替)		① 2021年度顕彰者の決定 ② 支部長の委嘱 ③ 入会の承認
第37回	3月18日 開催予定 (⇒「決議の省略」という方法に切替)		① 2022年度の事業について ② 2022年度の収支予算について ③ 2022年度の資金調達及び設備投資について、など

### 3) 「本部企画委員会」のオンライン開催

	開催日	出席者	主な内容
第49回	2月25日	7名	① 各支部・各委員会の2021年度概況と2022年度予定について ② 本会の2021年度概況と2022年度計画について

## 10. 会員数の異動

		会員数		入会	退会	増減
		2021年 4月1日	2022年 3月31日			
正会員	団体	72	68	1	5	-4
	個人	34	31	0	3	-3
賛助会員	団体	79	78	3	4	-1
	個人	70	76	10	4	+6
合計		255	253	14	16	-2

## 11. 2021年度事業報告 附属明細書

2021年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業活動の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成していない。

以上